

本ワクチン接種に関するよくある質問

Q1. ウイルスのタンパク質を作る基になる遺伝情報を体に投与すると、将来の身体への異変は心配ありませんか？

A1

メッセンジャーRNA (mRNA) は、数分から数日といった時間の経過とともに分解されていきます。また、mRNAは、人の遺伝情報(DNA)に組み込まれるものではありません。体の中で、DNAからmRNAが作られる仕組みがありますが、情報の流れは一方通行で、逆にmRNAからはDNAは作られません。こうしたことから、mRNAを注射することで、その情報が長期に残ったり、精子や卵子の遺伝情報に取り込まれることはないと考えられています。

Q2. 過去に他のワクチンや医薬品、食品、化粧品に対してアレルギー反応があったのですが、本ワクチンを接種しても問題ないですか？

A2

予診票にアレルギーの情報(何に対してどのような症状が出たのか)をできる限り記載の上、事前にかかりつけ医に相談するか、もしくは接種当日、医師にご相談ください。

Q3. ワクチンの効果はどのくらいありますか？

A3

オリジナル株対応ワクチンを21日間間隔で2回接種し、2回目の接種から7日目以降におけるワクチンの有効性(発症予防効果)は約91%でした。なお、この有効性を評価した集団の追跡期間(中央値)は2回目接種後118日でした。また、12歳以上の方を対象とした臨床試験において、オリジナル株対応ワクチンの新型コロナウイルス感染症の重症化予防効果は約96%という報告があります。オミクロン株対応ワクチンについては、Q.5をご確認ください。本ワクチンの臨床試験は継続中であり、今後さらに情報が得られる予定です。最新情報は、厚生労働省のQ&A(<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>)や日本小児科学会のホームページ(<https://www.jpeds.or.jp/>)をご確認ください。

Q4. ワクチンの副反応の心配はありますか？

A4

ワクチンの接種によって、副反応が起きることがあります。気になる症状、いつもと違う体調の変化が認められた場合には、速やかに医師等にご連絡ください。万が一、ワクチンの接種によって健康被害が生じた場合には、国による健康被害救済制度がございますので、お住まいの各自治体にご相談ください。

Q5. オミクロン株対応ワクチンとは何ですか？

A5

新型コロナウイルス変異株である、オミクロン株に対応したワクチンです。起源株とオミクロン株、2種類のメッセンジャーRNA(mRNA)が含まれています。また、オミクロン株対応ワクチンの中でも、コミナティRTU筋注(2価:起源株/オミクロン株BA.1)と、コミナティRTU筋注(2価:起源株/オミクロン株BA.4-5)では、異なるオミクロン株に関するmRNAが含まれています。オリジナル株対応ワクチン(コミナティ筋注(1価:起源株))の3回目の接種を受けた55歳以上の方を対象とし、4回目接種としてオリジナル株対応ワクチンとオミクロン株対応ワクチン(コミナティRTU筋注(2価:起源株/オミクロン株BA.1))のいずれかを接種し、4回目接種から1ヵ月後の、新型コロナウイルスオミクロン株(BA.1)に対する中和抗体価を比較する臨床試験を実施し、有効性が認められました。

Q6. 新型コロナワクチンの接種を受ければ、感染予防対策はしなくていいですか？

A6

本ワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症を予防するものです。本ワクチン接種後も基本的な感染予防対策(マスク着用、密集、密接および密閉の回避、手洗いや咳エチケット等)が必要です(感染を予防する効果は評価されていません)。

Q7. ワクチン接種を受ける前や受けた後に気をつけることは？

A7

接種を受ける前

原則としてワクチン接種は体調が良い時に受けましょう。いつもと様子や体調が違う、何となく調子が悪いという時、また、医薬品でアレルギー反応の経験のある方、食物アレルギーやアレルギー疾患のある方、予防接種そのものに対して緊張する方、注射針や痛みに対して不安がある方は必ず医師に相談しましょう。

接種を受けた後

まれにワクチン接種に対する緊張や痛みをきっかけに気を失う(失神する)ことがあります。ワクチン接種後は背もたれのある椅子にしばらく座るなどして休みましょう。特に緊張の強いお子さま、以前に採血やワクチン接種の際に気分が悪くなったことのあるお子さまは、事前に接種医にご相談ください。

また、ワクチンの接種により**ショック**や**アナフィラキシー**などの重いアレルギー反応が起きることがあります。他の医薬品でアレルギー反応の経験のある方や、食物アレルギーやアレルギー疾患のある方は接種に際して慎重な観察が必要です。医師に相談の上、しばらくの間は接種を受けた医療機関等の施設内にいるようにしましょう。医療機関等の施設内にいることですぐに対応できます。

なお、接種後に**心筋炎**や**心膜炎**があらわれることがあります。心筋炎、心膜炎が疑われる症状(胸の痛み、動悸、むくみ、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い)が認められる場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

Q8. 新型コロナウイルスmRNAワクチン接種後に報告されているギラン・バレー症候群では、どのような症状が認められますか？また、症状を認めた場合は、どうすればいいですか？

A8

ギラン・バレー症候群では、歩行時につまずく、階段を昇れない、手足(特に足)に力が入らない、物がつかみにくい、手足がしびれる、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉が麻痺する、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しいなどの症状があらわれます。ギラン・バレー症候群は、初期には軽症と考えられても急速に悪化することがあります。ギラン・バレー症候群が疑われる症状が認められた場合には、早い段階で医師等に相談するようにしてください。その際、本ワクチンを接種したことやいつ接種したのかなどを伝えるようにしてください。

Q9. 妊婦(妊娠している可能性がある)が、本ワクチンの接種を受けても問題ないですか？

A9

医師と相談し、予防接種上の有益性が、危険性を上回ると判断される場合にのみ接種を受けてください。

Q10. 授乳中の場合、本ワクチンを接種しても問題ないですか？

A10

医師と相談し、予防接種上の有益性および母乳栄養の有益性が、危険性を上回ると判断される場合にのみ接種を受けてください。

Q11. 1回目の接種時には11歳でしたが、2回目の接種前に12歳の誕生日がきました。5~11歳用と12歳以上用、どちらのワクチンを接種すればいいのでしょうか？

A11

5~11歳においては、1回目接種時の年齢に基づいて使用するワクチンが決定されます。1回目接種時に11歳であったお子さまは、2回目の接種までに12歳になった場合であっても、2回目も5~11歳用のワクチンを接種します。

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き(10版)より抜粋(<https://www.mhlw.go.jp/content/000991156.pdf>)

こちらの情報は更新される可能性があります。

14ページに記載の二次元コードより最新の内容をご確認ください。

Q12. 初回免疫のためのワクチン接種の1回目と2回目の間隔が、3週間以上空いてしまった場合、どのようにすればいいですか？

A12

できる限り速やかに2回目の接種を受けてください。

Q13. 初回免疫のためのワクチン接種で、オミクロン株対応ワクチンを接種しても問題ないですか？

A13

初回免疫におけるオミクロン株対応ワクチンの安全性・有効性は、わかっていません。オミクロン株対応ワクチンは追加免疫でのみ接種が受けられます。初回免疫ではオリジナル株対応ワクチンを接種します。

Q14. 追加免疫の接種はどのような人が対象ですか？

A14

追加免疫(3回目以降)の接種の対象者や実施時期については、各自治体からの案内をご確認ください。

追加免疫のためのワクチン接種では、オリジナル株対応ワクチン、またはオミクロン株対応ワクチンの接種を受けることができます。

2回目の接種から**少なくとも3カ月経過した後**に、追加免疫のための3回目の接種を受けることができます。

以降の追加免疫のためのワクチン接種についても、前回の接種から**少なくとも3カ月経過した後**に、次回の接種を受けることができます。

Q15. 1回目の接種で重篤な副反応が認められ、医師より2回目に同じワクチンを接種することが困難と言われました。2回目の接種を受けることはできないですか？

A15

他社の新型コロナワクチンの接種を受けられる場合があります。医療機関へ接種の可否および接種間隔等についてご相談ください。